

Amivan+Lazertinib

対象の疾患		非小細胞肺癌											
投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
					1日目	2日目	...	8日目	...	15日目	...	22日目	28日目
治療内容													
サイクル1													
No1	デキサメタゾン	9.9mg	15分	i.v	●	●							
	クロルフェニラミン酸塩	5mg											
	アセトアミノフェン	1000mg											
No2	生理食塩液	50mL	5分	i.v	●	●							
No3	アミバンタマブ(80kg未満) (80kg以上)	350mg	※1	i.v	●								
	生理食塩液	全量250mL											
No4	アミバンタマブ(80kg未満) (80kg以上)	700mg	※1	i.v		●							
		1050mg											
	生理食塩液	全量250mL											
No5	クロルフェニラミン酸塩	5mg	15分	i.v				●		●		●	
	アセトアミノフェン	1000mg											
No6	生理食塩液	50mL	5分	i.v				●		●		●	
No7	アミバンタマブ(80kg未満) (80kg以上)	1050mg	※1	i.v				●		●		●	
		1400mg											
	生理食塩液	全量250mL											
No8	ラゼルチニブ	240mg	1回/day	p.o	→								
サイクル2以降													
No1	クロルフェニラミン酸塩	5mg	15分	i.v	●					●			
	アセトアミノフェン	1000mg											
No2	生理食塩液	50mL	5分	i.v	●					●			
No3	アミバンタマブ(80kg未満) (80kg以上)	1050mg	※1	i.v	●					●			
		1400mg											
	生理食塩液	全量250mL											
No4	ラゼルチニブ	240mg	1回/day	p.o	→								
総投与時間	4～6時間30分 ※1適正使用ガイドを参照												
1サイクル期間	28日間												
ポスト・プレ メディケーション	Amivan ・Infusion reaction 予防にC1D1投与前2日間デキサメタゾン16mg/dayを内服 ・ラゼルチニブとの併用投与における静脈血栓塞栓症の発症抑制のため、併用投与開始後4か月間はアピキサバン1回2.5mgを1日2回経口投与												
根拠文献	Amivantamab plus Lazertinib in Previously Untreated EGFR-Mutated Advanced NSCLC : N Engl J Med 2024;391:1486-1498												
その他	Amivan ・投与時にはインラインフィルターを使用 ・溶解後は10時間以内に投与 ・低Mg血症のため投与開始まえに測定を行う ・HFS他皮膚障害予防のため保湿を投与開始から行う ・皮膚障害出現時にはミノサイクリン塩酸塩錠100mg/dayの投与と外用ステロイド剤の使用を検討する												